

# 2022年3月期第2四半期 決算説明資料

動画

[2022年3月期第2四半期 決算説明会](#)



〒598-5

2021年12月10日

©SUNCALL CORPORATION All Right Reserved.

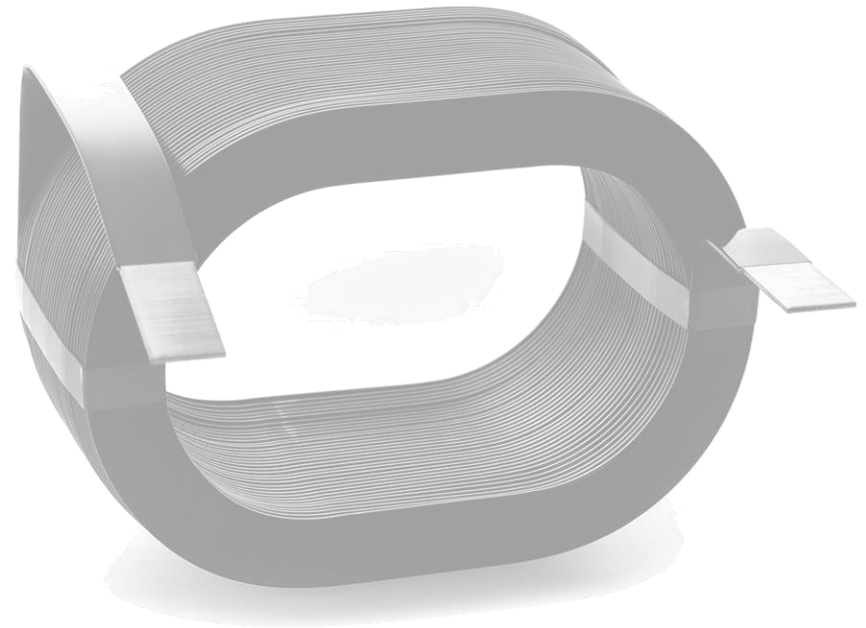
# 1.会社概要

# 2.2022年3月期第2四半期 決算概要

# 3.2022年3月期 業績見通し

# 4.中長期の成長戦略

# 会社概要




# 会社概要

社名	： サンコール株式会社 SUNCALL CORPORATION	
設立	： 1943年6月	
資本金	： 48億8百万円	
本社	： 京都市右京区梅津西浦町14番地	
証券取引所	： 東京証券取引所 第一部 ※1	
従業員数	： 2,301名（連結） 627名（単体）	
主要株主	： 日本マスタートラスト信託銀行(株) （退職給付信託口・(株)神戸製鋼所口） 16.7% 伊藤忠丸紅鉄鋼(株) 12.7%	

(2021年9月末時点)

※1 当社は2021年10月15日にプライム市場を選択することを公表しております。

A partial view of a grey metal gear with teeth, located in the top-left corner of the slide.

技術をより良い世界のために

経営理念

# 技翔創変

サンコールは『技翔創変』という経営理念の基で企業の飛躍に邁進しております。

- ✓ 『**技翔**』とは、**技術を飛翔させていくこと**  
特異な技術無くして、SUNCALLは存在し得ない
- ✓ 『**創変**』とは、**変化を自分で作りだして行くこと**  
世の中の変化についていくのではなく、変化をリードし、創造していく

# 事業分野 / 主要製品

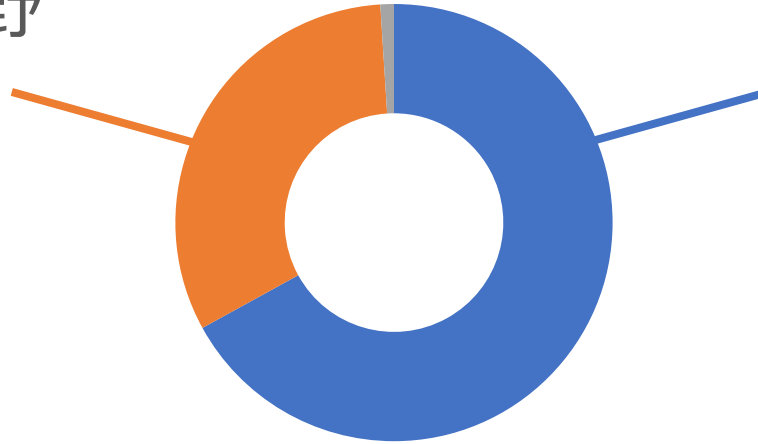
2022/3期第2四半期売上高

電子情報通信分野

32%

自動車分野

67%



## HDD部品



HDD  
サスペンション

## プリンター部品



ローラー



トルクミッター  
スプリングクラッチ

## 通信関連部品



光コネクタ



光アダプタ

## 精密機能材料



弁バネ用線



精密异形線

## 精密機能部品



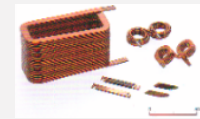
弁バネ



リングギア



ぜんまいバネ



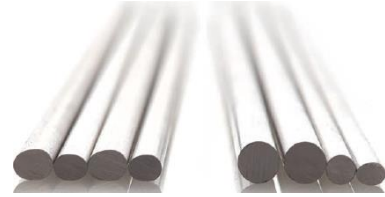
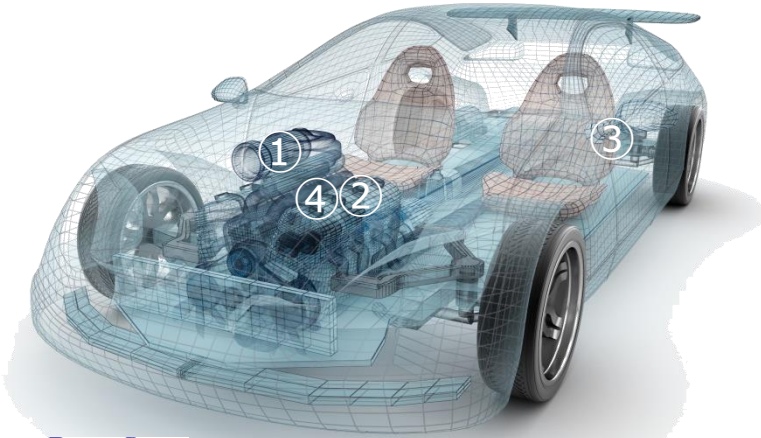
リアクターコイル



モーターコア部品

# 多様な用途に使用される当社精密部品-自動車分野

材料から加工まで一貫生産



一貫生産を支える当社の芯。数々の独自技術に展開するコア事業。安心・安全・高品質で新規領域へ

材料関連事業・弁ばね用銅線 精密異形線

## モーター・電気部品



ユニットの形状に合わせて個別に設計。これからの配線の主役。

④バスバー



電流を流しながら、電圧を測定できるという機能を盛り込んだ、バスバー一体型センサー。リチウムイオン電池のような大電流にも対応。

④シャントonバスバー



過電流を検知すると通電部を破壊瞬断する次世代センサー

④フューズセンサー



モーターの芯を構成する部品。当社は自動で一貫生産し、高い生産性を実現。

④モーターコア・ステーターコア



エンジン部品



国内シェアトップクラス。材料から加工まで一貫生産により、高品質、1億回の伸縮にも耐えられる高耐久性を実現。

①弁ばね



ミッション部品



国内シェアトップクラス。独自の金属加工技術で高精度を実現。

②リングギア・ドライブプレート

## 安全部品



材料から製造するため、精密なトルクの調節が行え、快適性を実現。

③シートベルト用ゼンマイばね

# 多様な用途に使用される当社精密部品-電子情報通信分野

## 今後進展する5G・IOTや増加する在宅勤務での需要拡大が期待される製品群のキーデバイス

HDD用サスペンション

HDD

プリンター関連製品

ローラー

トルクリミッター  
スプリングクラッチ

HDD磁気ヘッドを、数十ナノメートル単位で位置決めする  
極限レベルの精度要求に対応



長尺・軽量・高精度シャフト供給  
によりW/Wトップシェア



データセンター

通信関連製品

プリンター

光コネクタ

光アダプタ





# サンコールの強み

## 蓄積されたノウハウと技術による実績と信頼

### 高度な精密塑性加工技術

#### 金型 内製

- 引抜き加工用金型（ダイス）の内製化により、より複雑な形状の精密異形製品を創出。
- お客様の要求精度を満たしながら短納期化を実現。

#### 品質 保証

- 高精度部品のものでづくりで得た計測ノウハウを応用展開。
- 独自のセンサー応用技術を活かしたインライン計測システムと制御技術を融合。品質・生産性を飛躍的に向上。

### 材料から製品までの一貫生産体制

#### 材料 開発

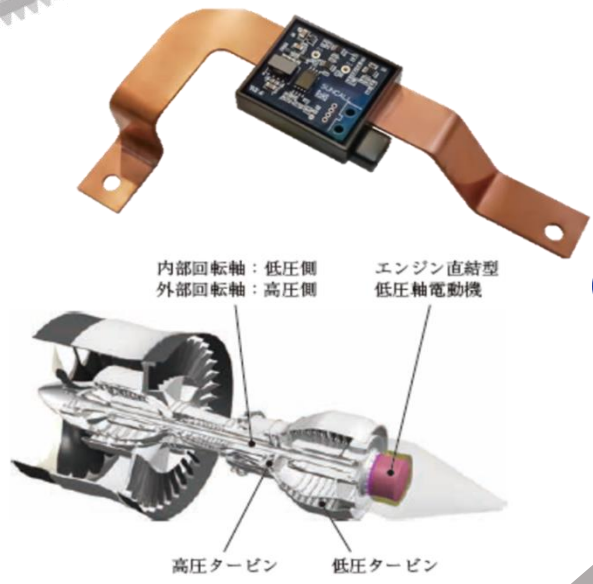
- 鋼材の成分設計から関与し、お客様の要求仕様を満たす高応力や高耐久性に優れた高強度材料を独自に開発。

#### 表面 処理技術

- 窒化処理や多段ショット等の表面処理技術を駆使し、高い疲労強度を実現。

# 次世代事業の開発

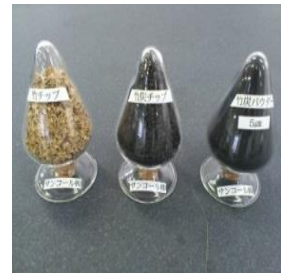
自動車電動化対応



ロコモアップ° 西岡社様にて使用

## 開発分野

環境・エネルギー



医療・介護機器



# 国内・海外拠点

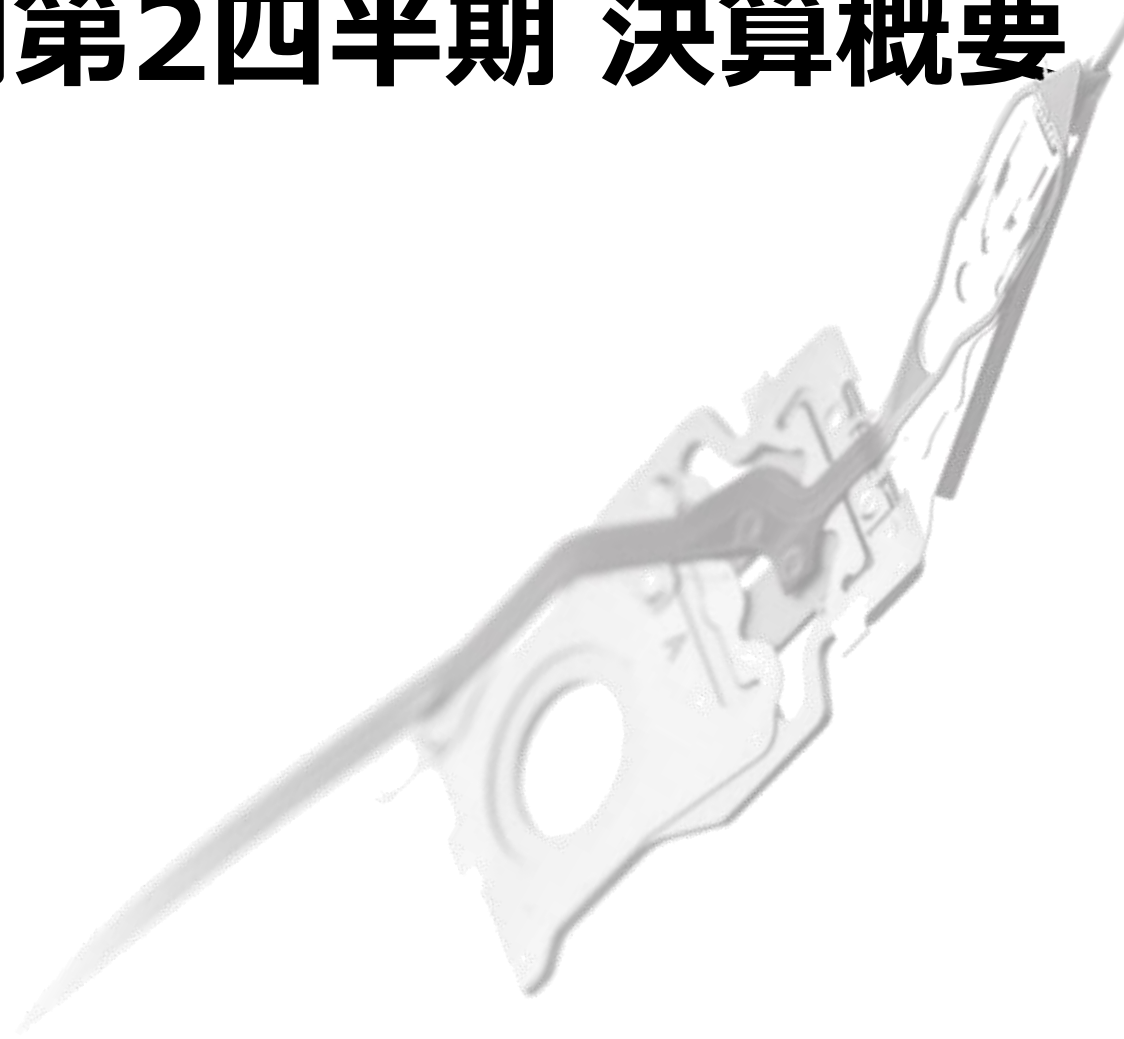
## 国内14拠点

<b>本社</b>	京都府京都市
<b>生産拠点</b>	
本社工場	京都府京都市
豊田工場	愛知県豊田市
広瀬工場	愛知県豊田市
<b>国内子会社</b>	
サンコールエンジニアリング株式会社	山梨県南アルプス市
サンコール菊池株式会社	熊本県菊池市
<b>営業拠点</b>	
東京支店	神奈川県横浜市
名古屋支店	愛知県豊田市
西日本支店	京都府京都市
上田営業所	長野県上田市
北関東営業所	栃木県宇都宮市
浜松営業所	静岡県浜松市
近畿営業所	京都府京都市
西日本営業所	広島県広島市

## 海外7カ国15拠点

国	地域	出資比率	生産品目
アメリカ	インディアナ州	100%	弁ばね、リングギアほか
	サウスカロライナ州	100%	光通信部品（販売拠点）
	テキサス州	100%	
メキシコ	アグアスカリエンテス州	100%	弁ばね用材料、リングギア
	アグアスカリエンテス州	50%	シートベルト用ぜんまいばね
中国	広州	100%	弁ばね、リングギアほか
	広州	100%	弁ばね用材料（販売拠点）
	佛山	25%	弁ばね用材料
	天津	100%	リングギア
	深圳	100%	プリンター用ローラー、 光通信部品ほか
	香港	100%	
タイ	チョンブリ県	100%	弁ばね、リングギア シートベルト用ぜんまいばね プリンター用ローラーほか
ベトナム	ハノイ	100%	プリンター用ローラーほか
韓国	梁山	49%	シートベルト用ぜんまいばね材料
フィリピン	マニラ	100%	HDD用サスペンション（駐在員事務所）

# 2022年3月期第2四半期 決算概要



# 2022年3月期第2四半期 決算のポイント

- **売上高** 23,502百万円（前年同期比+6,665百万円、+39.6%）
- **営業利益** 476百万円（前年同期：▲1,305百万円）

**黒字転換。新型コロナウイルス感染拡大の影響から回復傾向が継続**  
**自動車分野、電子情報通信分野ともに前年同期比大幅増収**

## 自動車分野

前年同期売上比+4,790百万円（+44.1%）

### \* 材料関連

弁ばね用材料や精密異形材料の売上が大きく回復

### \* 自動車関連

半導体不足の影響を受けるも、自動車生産の回復基調継続により回復

## 電子情報通信分野

前年同期売上比+2,014百万円（+37.0%）

### \* HDD用サスペンション

データセンター投資増に伴う需要が高水準で継続

### \* プリンター関連

リモートワークに伴う家庭用特需が継続

# 2022年3月期第2四半期 決算概要

- 売上高 新型コロナウイルス感染拡大の影響から回復し、前年同期比+6,665百万円の増収。自動車分野では回復傾向が続いているが、半導体不足による自動車生産の減損影響が発生している。電子情報通信分野の需要は高水準を維持。
- 営業利益 増収に伴い営業利益476百万円。前年同期比+1,782百万円の収益改善で黒字転換
- 経常利益 上記営業利益改善に加え、メキシコ子会社の為替差益発生（145百万円）

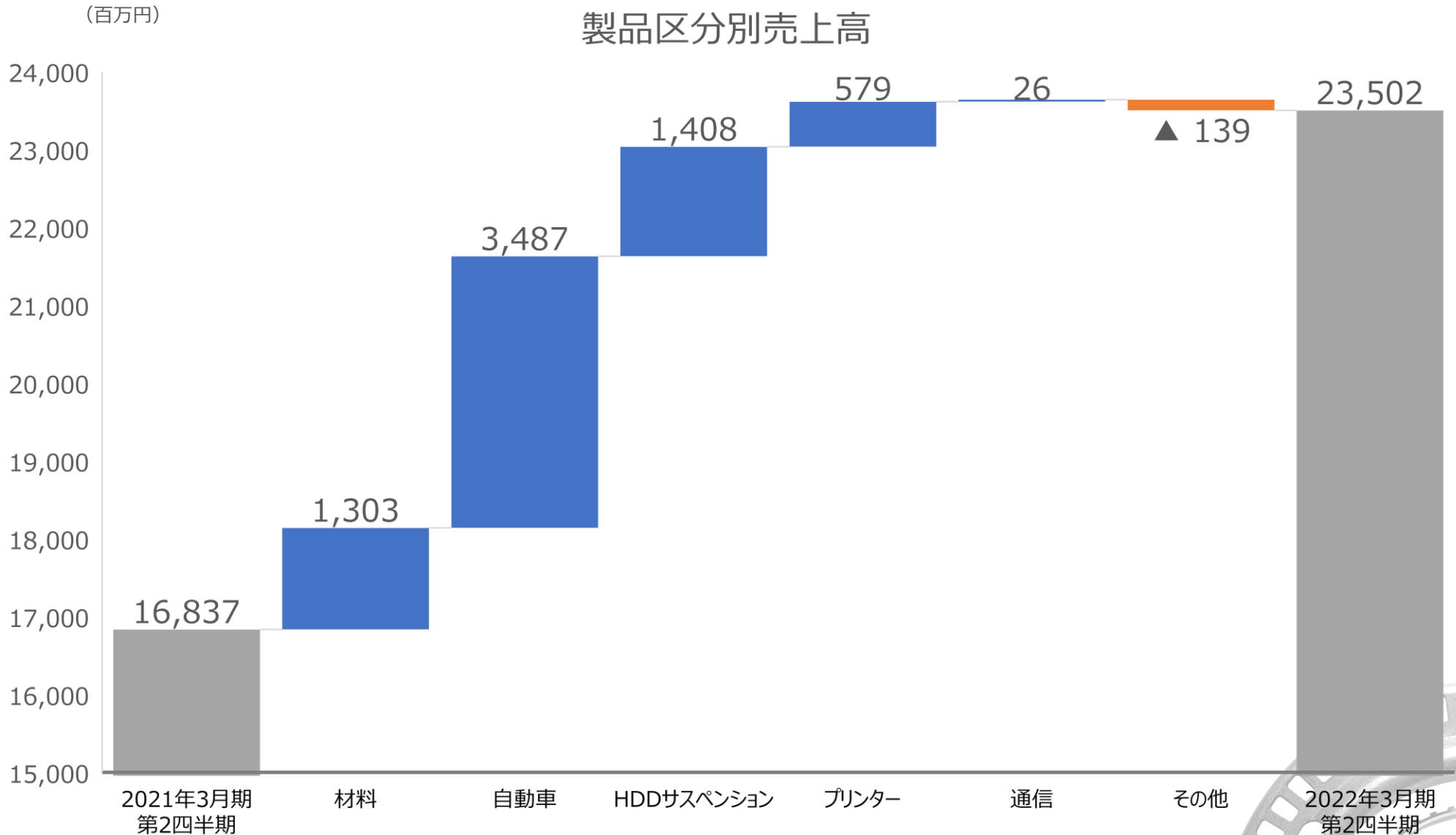
(百万円)	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期					
		実績	上期計画 (8/5公表値)	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	上期計画比 増減額
売上高	16,837	<b>23,700</b>	<b>23,502</b>	+6,665	+39.6%	▲198	▲0.8%
営業利益	▲1,305	<b>440</b>	<b>476</b>	+1,782	-	+36	+8.2%
経常利益	▲1,360	<b>580</b>	<b>650</b>	+2,010	-	+70	+12.1%
当期純利益	▲1,016	<b>430</b>	<b>454</b>	+1,471	-	+24	+4.6%
一株当たり利益	▲32.14	<b>13.68</b>	<b>14.36</b>	+46.50	-	+0.68	+4.9%
平均為替レ-卜	106.9円/ドル 121.3円/ユーロ	107.2円/ドル 126.5円/ユーロ	109.8円/ドル 130.9円/ユーロ				

# 2022年3月期第2四半期 製品区分別売上

- 自動車分野
  - 材料関連 : 弁ばね用材料や精密異形材料の売上が大きく回復し、前年同期比+61.9%増収
  - 自動車関連 : 東南アジアでの新型コロナ再拡大による部品調達不足を背景に自動車生産の減産の影響を受けるも、前年同期比で全製品の売上が回復し、+39.9%増収。  
特に電動車用バスバーは大きく伸長
- 電子情報通信分野
  - HDD用サスペンション : データセンター投資高水準で需要堅調、前年同期比+39.9%増収
  - プリンター関連 : 家庭用特需の継続により、前年同期比+41.6%増収
- その他
  - 携帯電話部品 : 昨年12月で生産終了により、減収

(百万円)	2021年3月期 第2四半期		2022年3月期 第2四半期				
	実績	上期計画 (8/5公表値)	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	上期計画比 増減額	上期計画比 増減率
売上高	16,837	23,700	<b>23,502</b>	+6,665	+39.6%	▲198	▲0.8%
自動車分野	10,855	16,300	<b>15,646</b>	+4,790	+44.1%	▲654	▲4.0%
材料	2,105	3,400	<b>3,409</b>	+1,303	+61.9%	+9	+0.3%
自動車	8,749	12,900	<b>12,237</b>	+3,487	+39.9%	▲663	▲5.1%
電子情報通信分野	5,448	7,100	<b>7,462</b>	+2,014	+37.0%	+362	+5.1%
HDD用サスペンション	3,529	4,700	<b>4,937</b>	+1,408	+39.9%	+237	+5.0%
プリンター	1,394	1,900	<b>1,974</b>	+579	+41.6%	+74	+3.9%
通信	524	500	<b>550</b>	+26	+5.0%	+50	+10.0%
その他	533	300	<b>393</b>	▲139	▲26.1%	+93	+31.0%

# 製品区分別売上高要因分析（前年同期比）





# 2022年3月期第2四半期 決算概要（四半期）

## Q1/Q2比較

### ■ 営業利益減少

積極的な戦略投資の完了に伴う減価償却費の増加 約△0.6億円  
 自己株式公開買い付け(TOB)による経費の増加 約△0.2億円  
 鋼材価格の高騰による製造コストの増加 約△0.9億円  
 （下期売価反映を促進）

(百万円)	2021年3月期				2022年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	1Q比 増減額	1Q比 増減率
売上高	7,964	8,872	11,767	11,537	11,726	<b>11,776</b>	+49	+0.4%
営業利益	▲745	▲560	87	▲75	323	<b>153</b>	▲170	▲37.9%
経常利益	▲876	▲484	246	114	404	<b>246</b>	▲158	▲60.9%
当期純利益	▲680	▲336	225	852	270	<b>184</b>	▲86	▲46.7%
平均為替レ-卜	107.6円/ドル	106.2円/ドル	104.5円/ドル	105.9円/ドル	109.4円/ドル 131.9円/ユーロ	110.1円/ドル 129.8円/ユーロ		

# 2022年3月期第2四半期 地域別売上

- 日本 自動車分野：新型コロナ影響による自動車生産・販売の落込みから回復し+2,279百万円増収
- 米国 自動車関連：メキシコ子会社、米国子会社の材料関連製品および自動車関連製品ともに回復基調が継続し、前年同期比+611百万円増収
- 中国 自動車分野：新型コロナ感染拡大の影響から回復し大幅増収
- フィリピン HDD用サスペンション：データセンター投資増に伴う需要増加継続
- その他 HDD用サスペンション：タイ向けの納入増加他

(百万円)	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期第2四半期		
	実績	実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
売上高	16,837	<b>23,502</b>	+6,665	+39.6%
日本	6,807	<b>9,087</b>	+2,279	+33.5%
米国	1,370	<b>1,982</b>	+611	+44.6%
中国	1,723	<b>2,740</b>	+1,016	+58.9%
フィリピン	3,159	<b>4,344</b>	+1,185	+37.5%
その他	3,775	<b>5,348</b>	+1,572	+41.7%

# 2022年3月期第2四半期 連結貸借対照表

- 固定資産増加 : HDDサスペンションや自動車関連への能力増強投資により有形固定資産+1,441百万円  
株価下落により投資有価証券▲473百万円
- 流動負債増加 : 短期借入金+1,152百万円, 買掛金+542百万円
- 純資産減少 : 当期純利益+454百万円, 配当金▲352百万円, 投資有価証券評価差額▲329百万円  
為替換算調整勘定+583百万円, 自己株式(公開買付他)の増加▲698百万円  
(自己資本比率は66.3%を維持)

(百万円)		2021年3月期末	2022年3月期 第2四半期末			
			実績	実績	前期末比増減額	
流	動	資	産	25,207	<b>25,178</b>	▲29
	現	預	金	7,570	<b>6,565</b>	▲1,004
	売	上	債	9,996	<b>10,423</b>	+426
	棚	卸	資	6,465	<b>7,368</b>	+902
固	定	資	産	28,167	<b>29,058</b>	+890
総	資	産		53,375	<b>54,236</b>	+860
負	債	合	計	17,054	<b>18,244</b>	+1,189
流	動	負	債	13,781	<b>15,318</b>	+1,536
	有	利	子	2,802	<b>3,788</b>	+985
固	定	負	債	3,272	<b>2,925</b>	▲347
	有	利	子	1,541	<b>1,342</b>	▲199
純	資	産	合	36,320	<b>35,992</b>	▲328
負	債	純	資	53,375	<b>54,236</b>	+860

# 2022年3月期第2四半期 キャッシュ・フローの状況

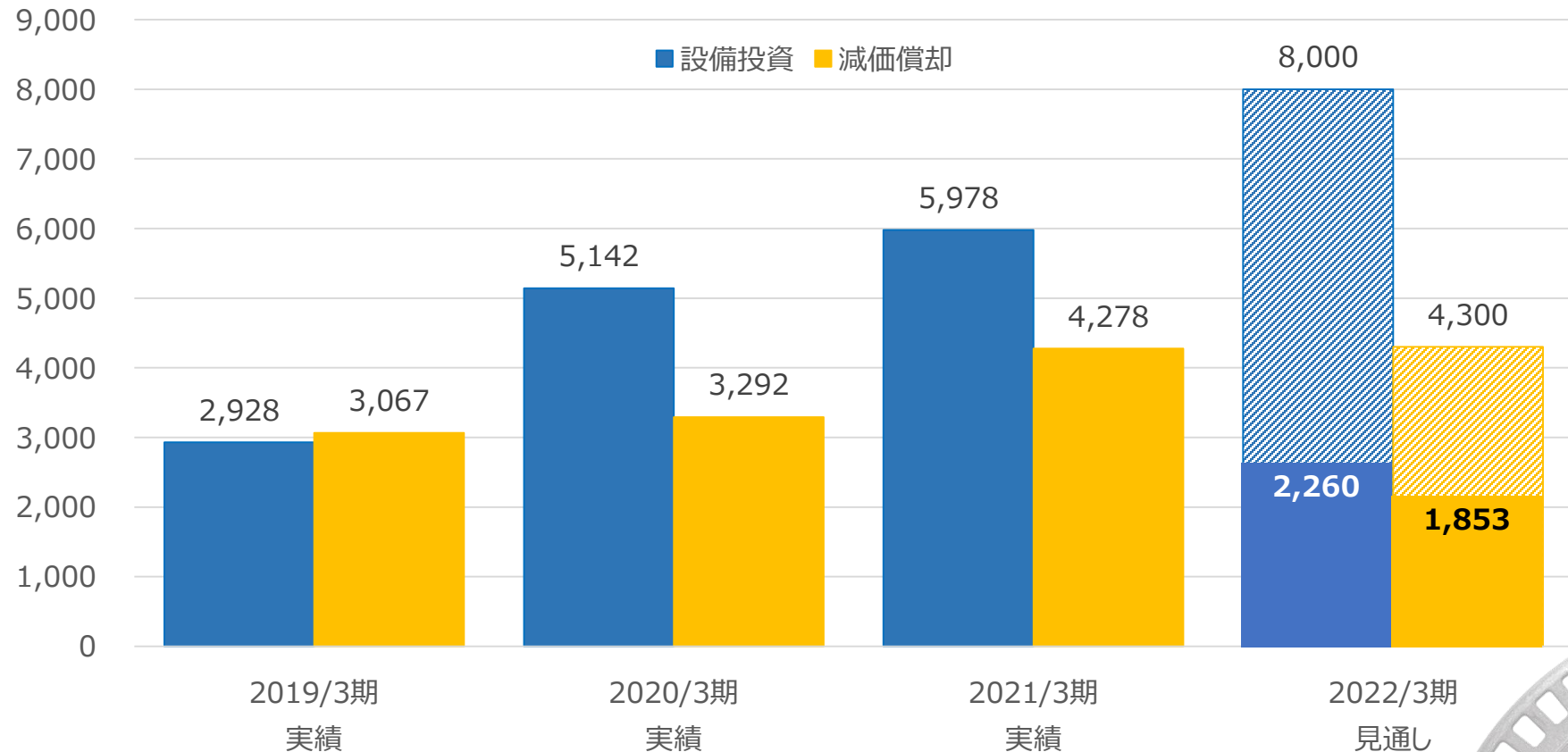
- 営業C/F : 税引前当期純利益が前年同期比+2,015百万円増加
- 投資C/F : HDD用サスペンションを中心に高水準の設備投資を継続
- 財務C/F : 自己株式（公開買付他）の取得により▲704百万円減少

(百万円)	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	
	実績	実績	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲425	<b>2,143</b>	+2,568
税引前当期純利益	▲1,374	<b>640</b>	+2,015
減価償却費	1886	<b>1,853</b>	▲33
売上債権・仕入債務増減	▲58	<b>205</b>	+263
棚卸資産増減	▲747	<b>▲713</b>	+33
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,747	<b>▲2,868</b>	▲120
有形固定資産取得	▲2,720	<b>▲2,816</b>	▲95
財務活動によるキャッシュ・フロー	184	<b>▲474</b>	▲658
短期借入金増減	552	<b>1,096</b>	+543
長期借入金増減	101	<b>▲415</b>	▲517
自己株式の取得	—	<b>▲704</b>	▲704
配当金支払	▲351	<b>▲351</b>	0

# 2022年3月期 設備投資・減価償却の状況

- 上期は自動車分野・HDD用サスペンションを中心に22.6億円の設備投資を実施
- 新製品・成長製品への投資継続  
 (HDD用サスペンションの増産および次期製品関連投資で下期約40億円を予定しており  
 年間設備投資は変更無し、但し減価償却費計画は一部完成遅れにより当初計画から▲2億円)

(百万円)



※上記設備投資額については完成ベース

# 2022年3月期 通期業績見通し



# 2022年3月期 業績見通しのポイント

## 過去最高売上高、各分野で回復傾向は継続

- **売上高 47,600百万円** : 前期比+7,460百万円 (+18.6%)
- **営業利益 650百万円** : 前期比+1,943百万円

下期予想については、足元、東南アジアでの新型コロナ拡大による部品調達不足を背景とした自動車生産の減産の影響や、半導体不足や鋼材価格高騰等の不確定要素があるものの、8月5日の上方修正予想を据え置く

### 自動車分野

前期売上比+5,161百万円 (+19.1%)

#### \* 材料関連 \* 自動車関連 :

東南アジアでの新型コロナ拡大による部品調達不足を背景とした自動車生産の減産影響(9,10月を底に、12月は当初計画以上に回復を見込む。国内1~3月は挽回を予想)重点戦略製品の拡販(バスバー、ローターコア他)

### 電子情報通信分野

前期売上比+2,594百万円 (+21.4%)

#### \* HDD用サスペンション :

データセンター投資増で需要は高水準

#### \* プリンター関連 :

家庭用向け好調継続も3Q(7~9月)は東南アジア新型コロナ拡大による顧客減産影響を受け一時的に減少

# 2022年3月期 業績見通し

- 売上高 自動車生産回復およびHDD用サスペンションの増加により、前期比+7,460百万円
- 営業利益 増収に伴い、前期比+1,943百万円の増益

(百万円)	2021年3月期		2022年3月期			
	通期実績	上期実績	下期予想	通期予想 (2021年8月5日修正)	前年通期 実績比 (額)	前年通期 実績比 (率)
売上高	40,140	23,502	24,098	<b>47,600</b>	+7,460	+18.6%
営業利益	▲1,293	476	174	<b>650</b>	+1,943	—
経常利益	▲1,000	650	200	<b>850</b>	+1,850	—
当期純利益	61	454	256	<b>710</b>	+649	+1,063.9%
一株当たり利益	1.95円	14.36	8.53円	<b>23.12円</b>	+21.17円	+1,085.6%
平均為替 レ - ト	106.1円/ドル	109.8円/ドル	110.0円/ドル	109.9円/ドル		
	123.7円/ユーロ	130.9円/ユーロ	130.0円/ユーロ	130.5円/ユーロ		



# 2022年3月期 製品区分別売上高見通し

## ■自動車分野

世界的な半導体不足による自動車減産影響を受けるが、前期比増収見込み

材料関連 : 自動車生産の回復による増加、欧州向け拡販

自動車関連 : 自動車生産の回復による増加、重点製品拡販(バスバー、ローターコア他)

## ■電子情報通信分野

データセンター向け投資に旺盛な需要が継続

HDD用サスペンション : データセンター投資に伴う需要増加継続

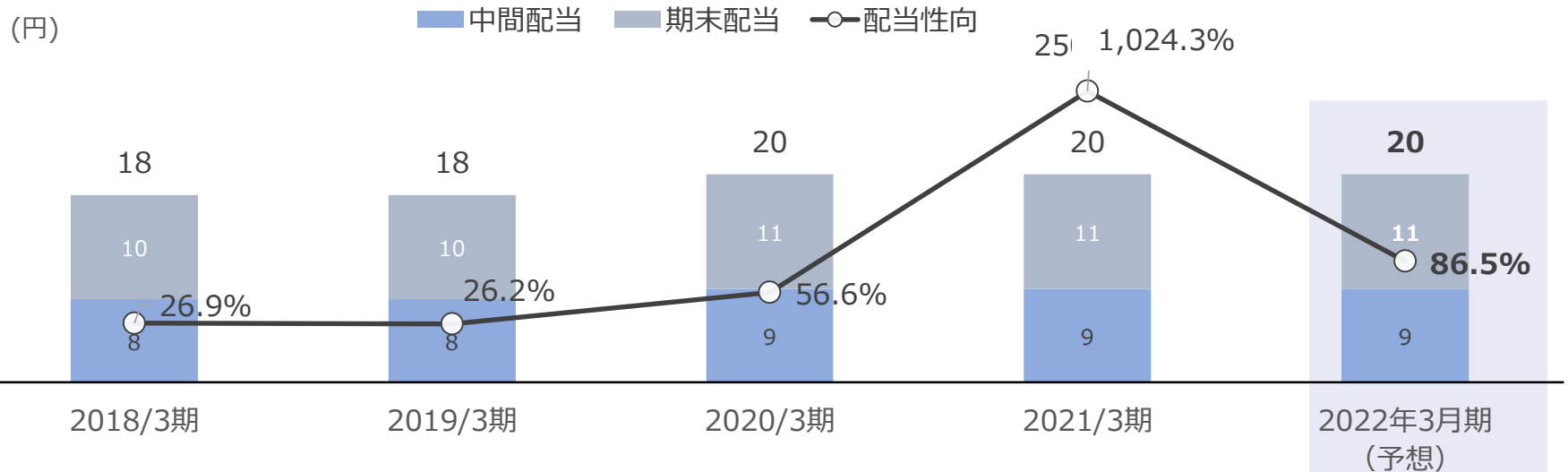
プリンター関連 : 在宅勤務増加に伴う家庭用特需が継続

(百万円)	2021年 3月期	2022年3月期		
	通期実績	通期予想	前期比	
売上高	40,140	<b>47,600</b>	+7,460	+18.6%
自動車分野	27,039	<b>32,200</b>	+5,161	+19.1%
材料関連	5,399	<b>6,500</b>	+1,101	+20.4%
自動車関連	21,639	<b>25,700</b>	+4,061	+18.8%
電子情報分野	12,106	<b>14,700</b>	+2,594	+21.4%
HDD用サスペンション	7,871	<b>10,200</b>	+2,329	+29.6%
プリンター関連	3,271	<b>3,400</b>	+129	+3.9%
通信関連	963	<b>1,100</b>	+137	+14.2%
その他	995	<b>700</b>	▲295	▲29.6%

# 2022年3月期 配当方針

- 将来に向けた積極投資の継続により利益水準は低いものの、回復途上  
⇒「中期経営計画GGP21」の安定配当方針に則り、引き続き年間配当20円を予定

配当方針	当期純利益が	配当下限目標	20円
	25億円まで配当性向	30%	
	25億円超配当性向	40%	



中間配当	8円	8円	9円	9円	<b>9円</b>
期末配当	10円	10円	11円	11円	<b>11円</b>
年間配当計	<b>18円</b>	<b>18円</b>	<b>20円</b>	<b>20円</b>	<b>20円</b>

# 中長期の成長戦略

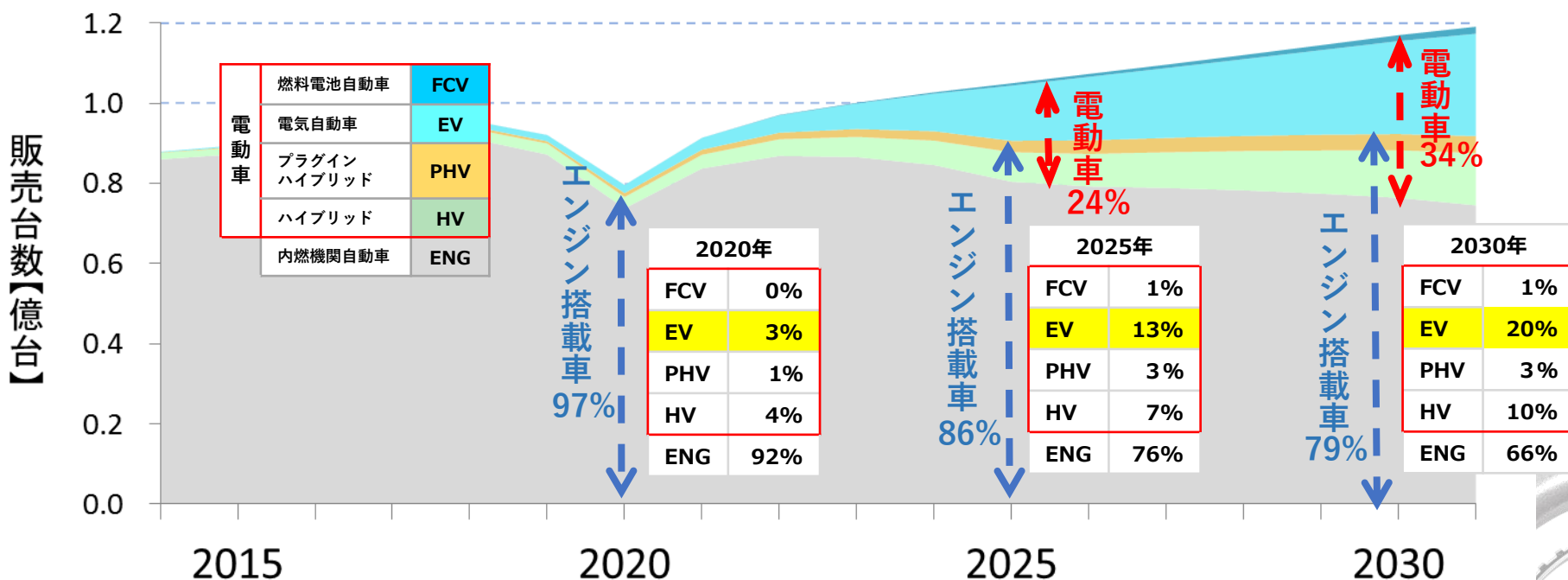
## GGP21

( Global Growth Plan 2021 )



## 自動車電動化の進捗予想 (2030年の電動車比率が34%) “EV化”が加速している

	2020年予想			→	2021年予想		
	2020年	2025年	2030年		2020年	2025年	2030年
エンジン非搭載車率	2%	4%	9%		3%	14%	21%
HV・PHV含むエンジン搭載車率	98%	96%	91%		97%	86%	79%

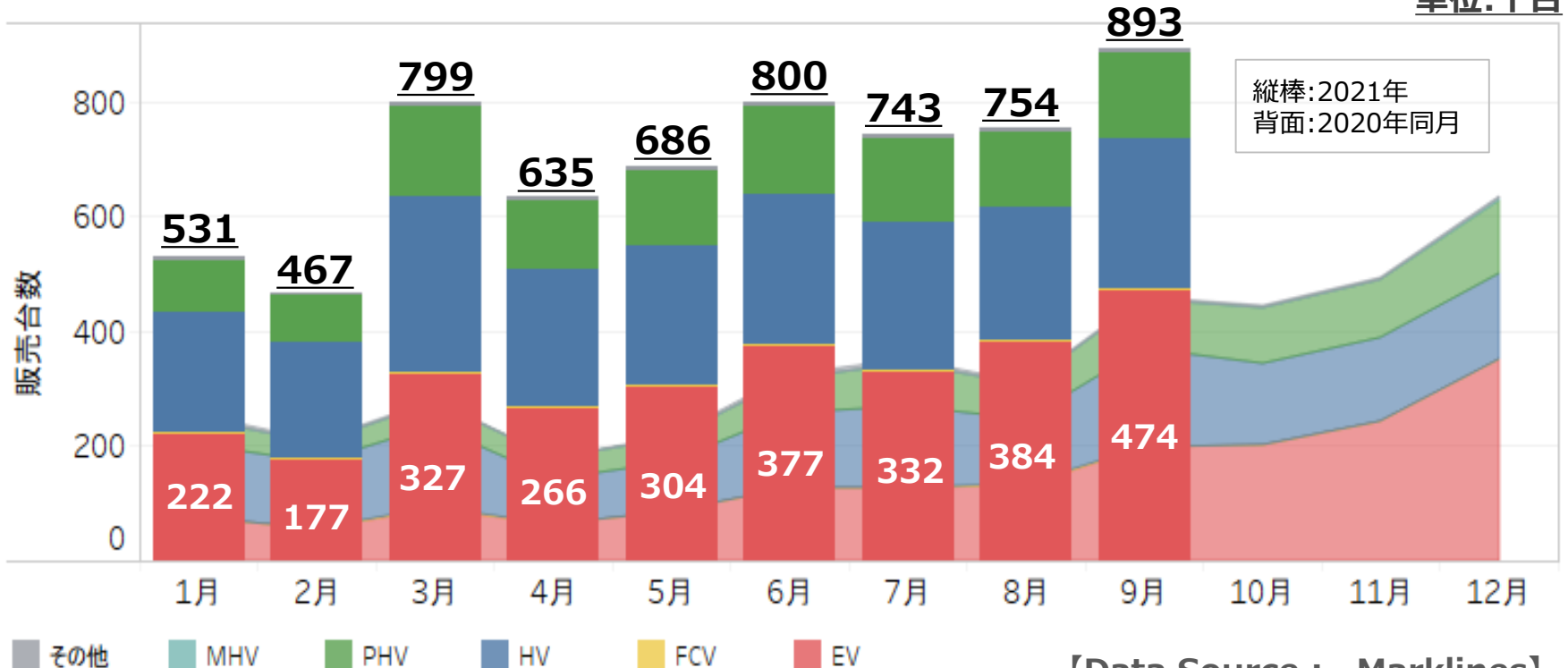


# 市場動向：直近の環境対応車（電動車）販売推移

- ◆ 自動車販売が新型コロナウイルス感染症の影響から回復し始めた2020年9月以降増加傾向
- ◆ 半導体不足による自動車生産の減産影響を受けつつも環境対応車(電動車)販売は着実な増加をみせている
- ◆ 特にEVが1-9月前年同月比で中国を中心に約3倍と大きく増加

## 環境対応車販売台数推移

単位:千台



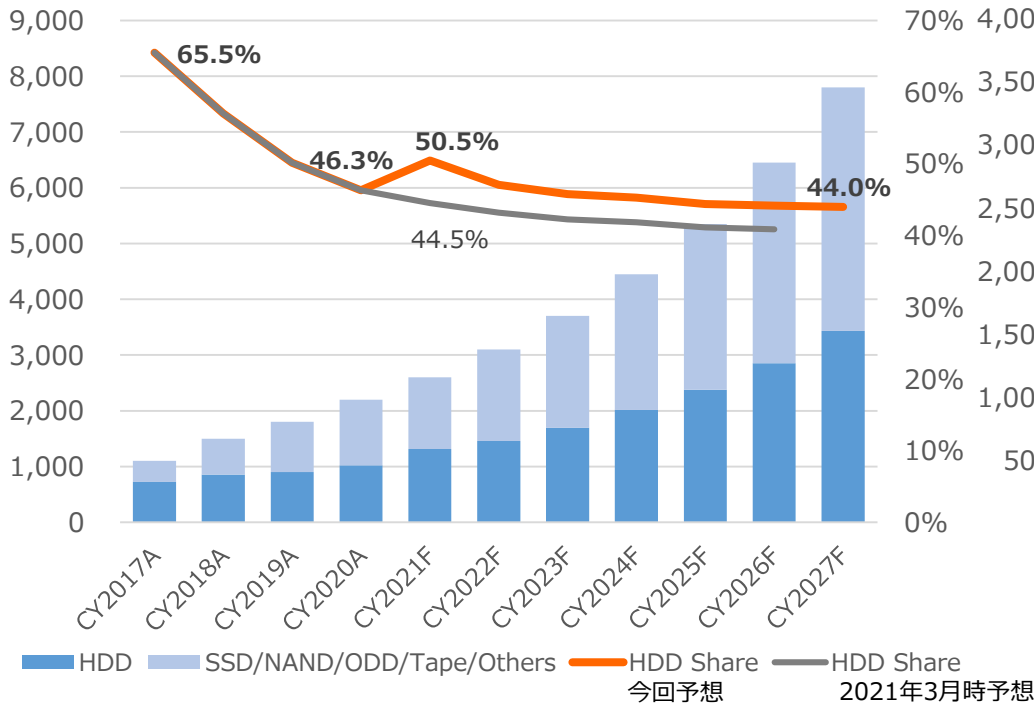
【Data Source : Marklines】

# データストレージ及びHDD需要予測

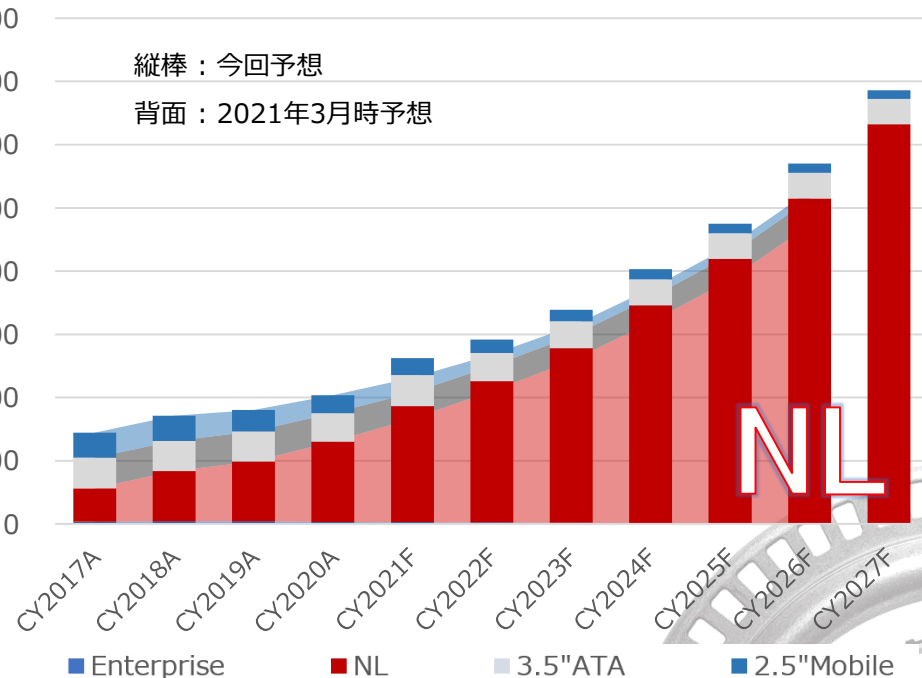
クラウドストレージ容量需要の爆発的な伸びに対して、  
ニアライン向けHDDの需要は今後も増加する傾向

1. クラウドストレージの世界市場はコロナウイルス感染症の発生によって爆発的な成長が見込まれる。
2. データの保存や処理のサービスはデータセンターで一元管理され、大容量のストレージが必要となる。
3. 2021年3月予想に対してニアライン向けHDDの需要は更に増加

データストレージの容量需要



HDDの容量需要



EB (エクサバイト) 情報量を表す単位。1 EBは1,000,000,000,000,000,000バイト。

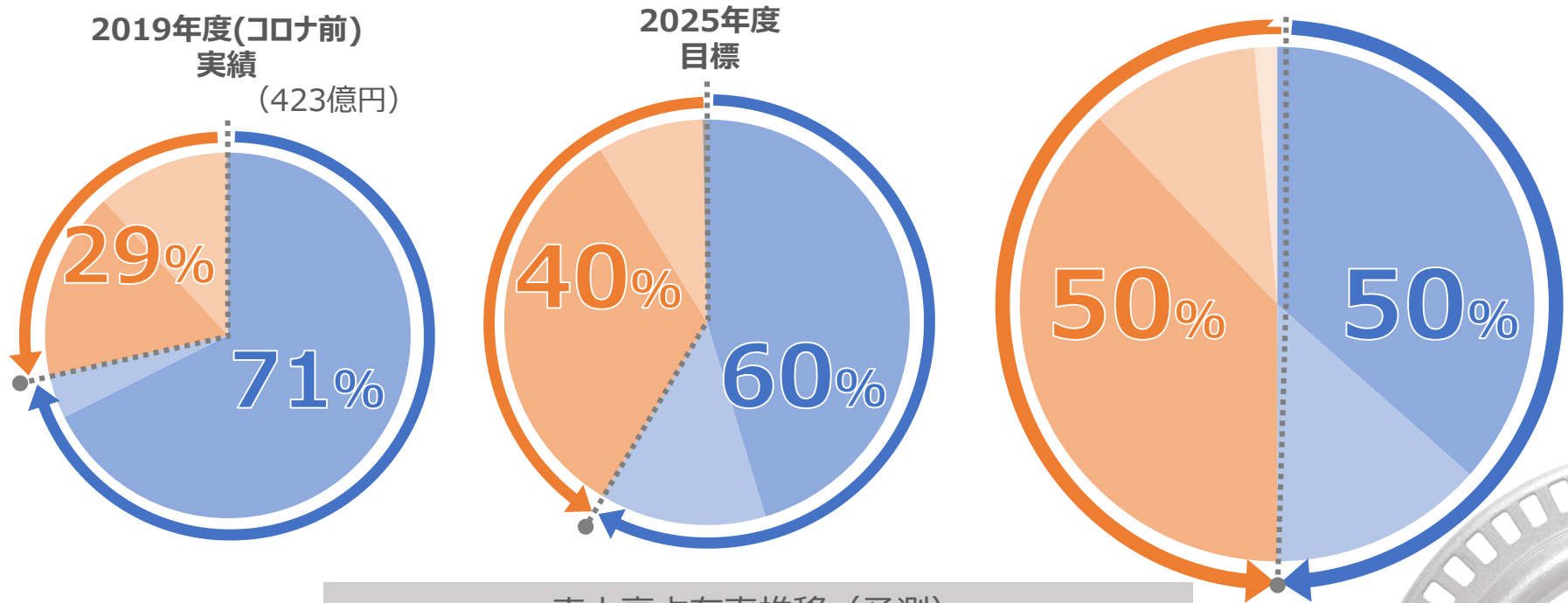
# 2030年に向けての事業セグメント将来像

自動車分野

- 既存製品  
(弁ばね・弁ばね用Wire・リングギア他)
- 新規EV・HV関連製品  
(バスバー・電流センサー他)

電子情報通信分野

- HDD用サスペンション
- 光関連・プリンター関連
- その他



売上高占有率推移 (予測)

# 中期経営計画「GGP21」の主要経営指標と重点戦略

## GGP21

売上高  
**500** 億円超

営業利益率  
**6.5%**

資本コスト  
(当社想定5.8%)  
の水準を安定的に  
上回るROEの  
確保・向上

配当性向  
**30%~40%**  
当期純利益25億円まで→30%  
当期純利益25億円超→40%  
配当下限 **20**円

成長分野への  
経営資源投入  
**160** 億円  
(今中計期間内設備投資計  
画)

次世代主力事業の  
育成と深耕

EV関連製品・医療関連  
バスバー・電流センサー

成長性の高い分野への  
経営資源の投入

電子情報通信分野  
HDDサスペンション・光通信

コア事業における  
高需要分野へ継続投資

自動車部品分野  
弁バネ・SBW・ゼンマイばね

## 財務戦略

新規事業・投資案件の基準適正化

コロナの影響により、21年度  
の中計目標値の達成に遅れ  
が生じている。



### 重点戦略は変更せず継続・加速

HDD用サスペンション拡大とEV関連製品の開発・立上  
げを最優先課題とする  
⇒2023年度で売上高570億円、  
営業利益率6.5%を達成する

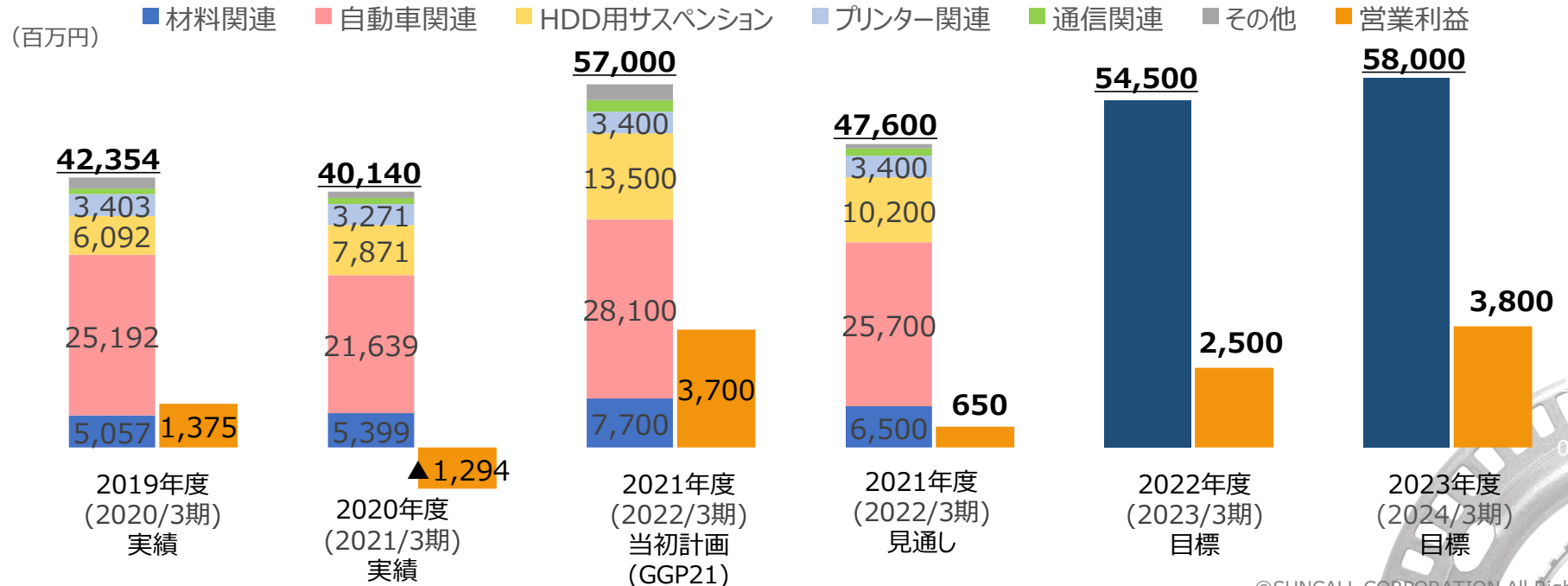


# 2021年度(2022年3期)業績見通し (GGP21対比)

※新型コロナウイルス感染症による影響で、GGP21目標達成は後ずれへ

セグメント	2021年度(2022/3期)の売上未達原因	2023年度(2024/3期)までの対策
材料関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナによる自動車減産影響</li> <li>・欧州排ガス規制強化</li> <li>・原材料価格の高騰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要顧客との長期契約による売上確保</li> <li>・高機能化と新規顧客への拡販</li> <li>・鋼材値上げ分の売価反映による収益改善</li> </ul>
自動車関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ及び半導体不足による減産影響</li> <li>・電動化部品拡販未達</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体不足の影響はある程度続くが、高機能化シャントセンサー、長尺バスバー他積極的拡販によりカバー</li> </ul>
HDD用サスペンション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旺盛な需要があるが、製品構成MIX変更、コロナによる生産拠点制約等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新機種有能力増強と生産効率改善に注力</li> </ul>

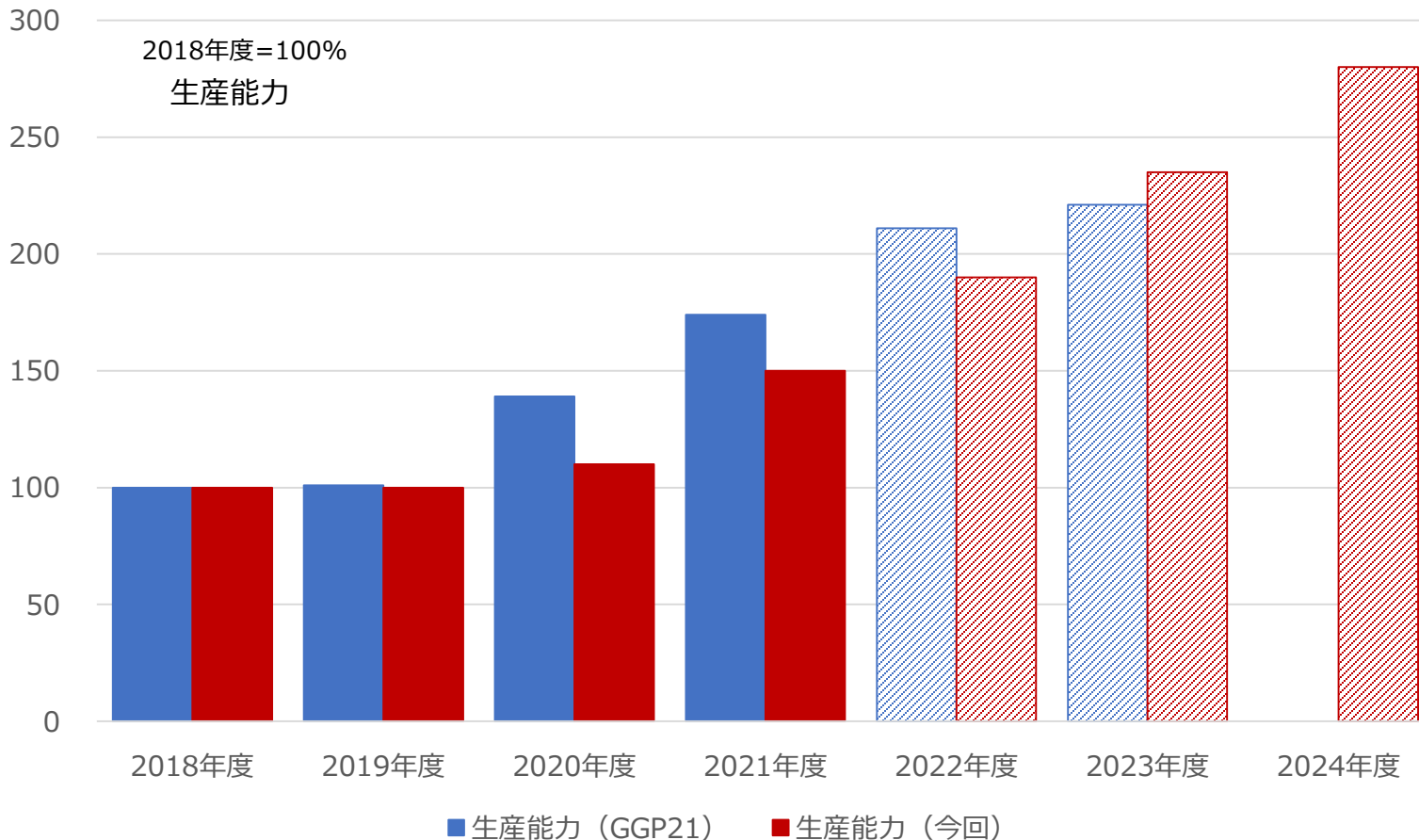
## 製品区分別売上高および営業利益の推移



# ニアライン向けHDD用サスペンション生産能力増強

- 当初計画GGP21では生産能力を2018年度対比2.2倍に増強する計画（2022-2023年度）
  - ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響によるライン立上げ遅れや顧客製品構成MIX変更により、生産能力増強は計画未達
  - ⇒ **生産能力を2018年度対比2.8倍に増強する計画に積上げ**

ニアラインドライブ用サスペンションの当社生産能力計画



# CASE対応～『電動化"E"』に注力

## CASE(ケース) とは

- Connected (インターネットとの接続)
- Autonomous (自動運転)
- Shared & Services (シェアリング)
- Electric (電動化)

## 電流センサー / 次世代開発製品

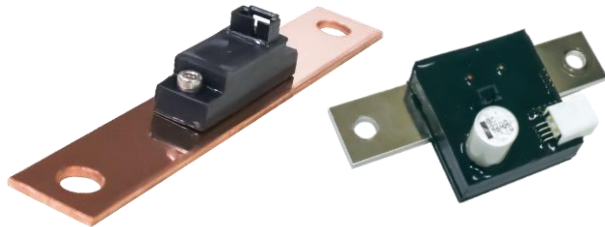
### 電流センサー



バスバー

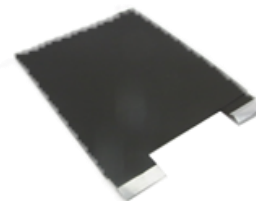


シャントバスバー



シャントセンサー/Fuseセンサー

### 次世代開発製品



活性炭キャパシタ



耐熱コイル



歩行支援ロボット  
「Orthobot」

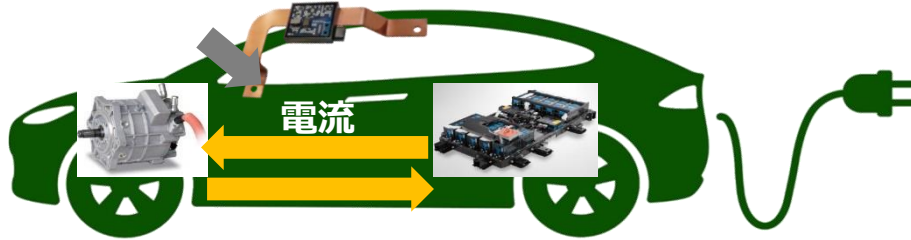
# 電流センサーの事業化

## ワールドワイドで顧客ニーズに合わせた製品開発により事業規模拡大中

### シャントセンサーの採用は徐々に増加

シャントセンサー

用途:電流の監視/異常検出/電流コントロール



### 電動フォークリフト用途 量産開始

(2017年4月～)



### HVトラック用途量産開始

(2019年12月～)



### 自動搬送装置用途

(2020年1月～)

Withコロナ時代  
宅配ビジネス・無人倉庫の拡大



### 太陽発電用途量産開始

(2020年4月～)

### シャントバスバーが北米向け EV乗用車への量産供給開始

2021年11月より量産供給開始

2023年度には年間13万台の供給規模になる見通し

### コロナ禍でのマーケティング 活動の充実

ホームページ掲載、カタログ作成  
展示会出展(Battery show, EV展)  
WEB面談の活用

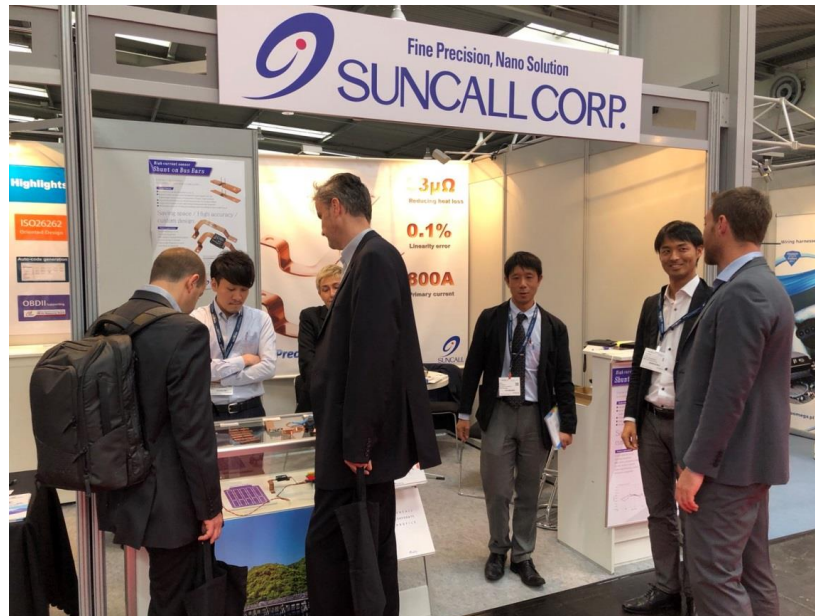
### 欧州・日本を中心に 試作件数増加

欧州、日本、中国のOEM,  
Tier1,非車載分野含め、  
試作件数が大きく増加

# 電流センサーの事業化

- EV/HEV駆動システム技術展(毎年1月)の他、  
THE BATTERY SHOW EUROPE(11月30日～12月2日開催)に出展

## ドイツ・東京での展示会出展の様子





## 自動車電動化対応（バスバー）

- ・ EV・HV・PHEV関連の車載用バッテリーユニット、モータ、インバーター用の電源供給ターミナル。需要増加や仕様の多様化が加速
- ・ 従来から量産していた短尺品は、中国メーカー参入により低価格化
- ・ 当社は、特に取り扱いが難しいとされる中長尺サイズのフォーミング加工によるバスバーに注力（展開長1,000mm相当の加工が可能）
- ・ 22年度から国内自動車メーカー2社(EV・HV車)へ新規品量産採用され、生産能力を倍増して対応する



## 医療介護事業の推進（歩行支援ロボット）

- ・ 京都大学等との共同研究開発により上市した歩行学習支援ロボット「Orthobot（オルソボット）」は国内リハビリテーション施設で使用中
- ・ 現在、リハビリテーション施設だけでなく老人ホーム等介護施設での使用実績が出来てきており、来年度はさらに小型・軽量化したタイプを市場投入し、更なる販売拡大を目指す



## 環境エネルギー関連（竹炭）

- ・ 通常の竹炭とは異なる電気特性を生かし、国産電気自動車のインパネ用塗料として採用。
- ・ 今後自動車の内装品はタッチパネル式が増加する予想で更なる拡大が期待される
- ・ 竹害削減、CO2削減効果で環境改善にも貢献

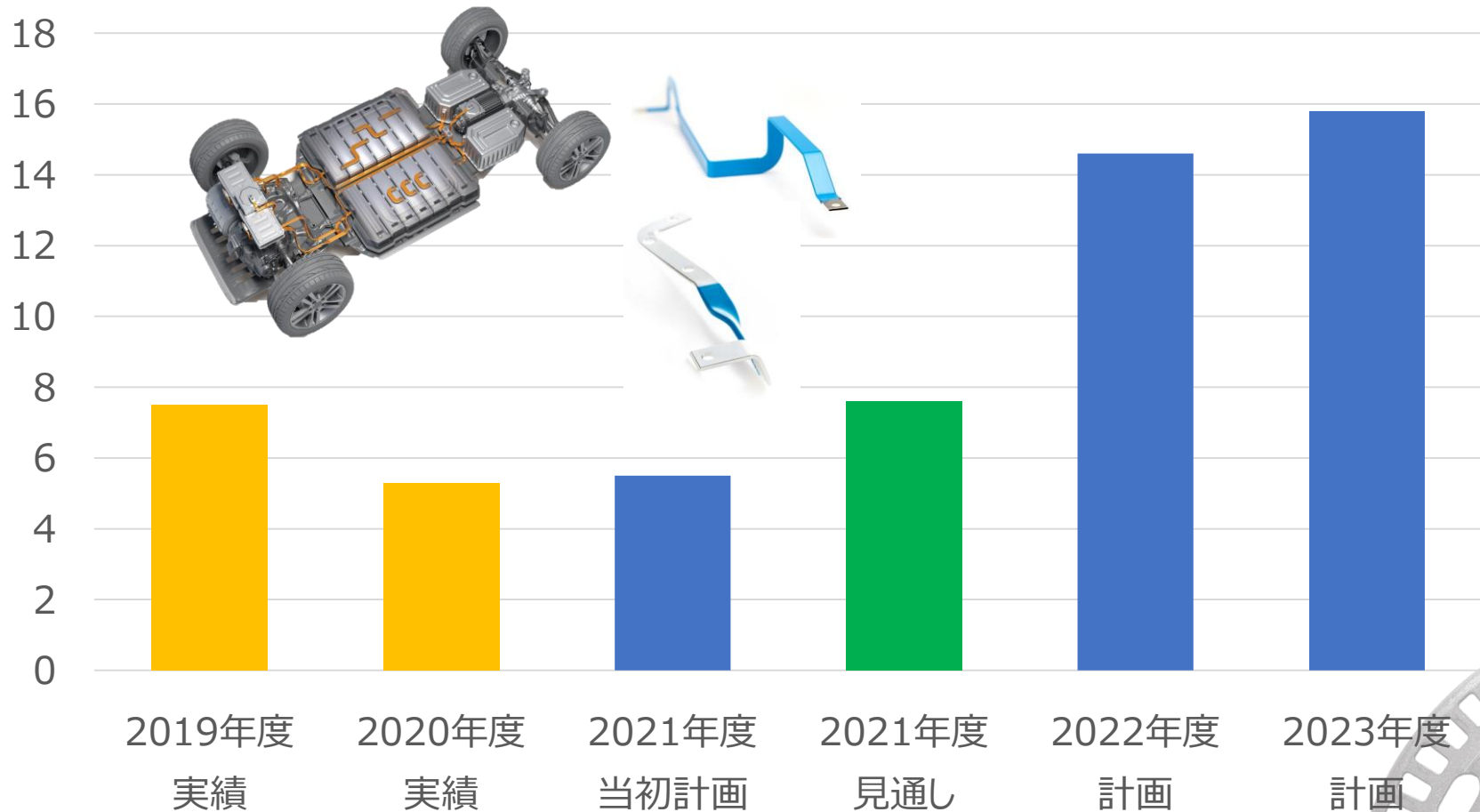
## 車載用LED部品について、開発完了し、量産開始

# バスバー売上拡大

- 2022年度から国内自動車メーカー2社(EV、HV車)へ新規品量産採用 ⇒ 大幅増加
- 国内他のメーカーや二輪・建機向けでも新規引き合いが増加し対応中

単位:億円

## バスバー売上高



# 歩行支援ロボットの販路拡大

- 医療関係の展示会に出展し、積極的なPR実施による知名度UPを図る
- 福祉施設等エンドユーザへの直接提案強化

## ◎ 第37回日本義肢装具学会学術大会

アフターセッション配信(共催セミナー3配信)  
2021年10月23日(土)~2021年11月20日(土)

## ◎ 第5回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会

<機器展示>

- (サンコール・フィンガルリンク共催)
- ・社名パネル2枚
  - ・A1ポスター一枚(バックライトパネル)
  - ・43インチモニター(動画で集客)

2021年11月12日(金)~2021年11月14日(日)

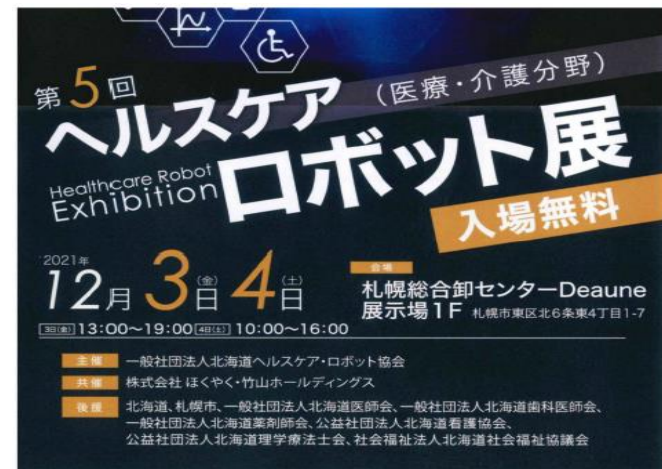


## ◎ 第5回ヘルスケアロボット展

主催：一般社団法人北海道ヘルスケア  
ロボット協会

※代表理事 藤原秀俊先生  
医療法人 秀友会 理事長

2021年9月28日Web講習会実施施設

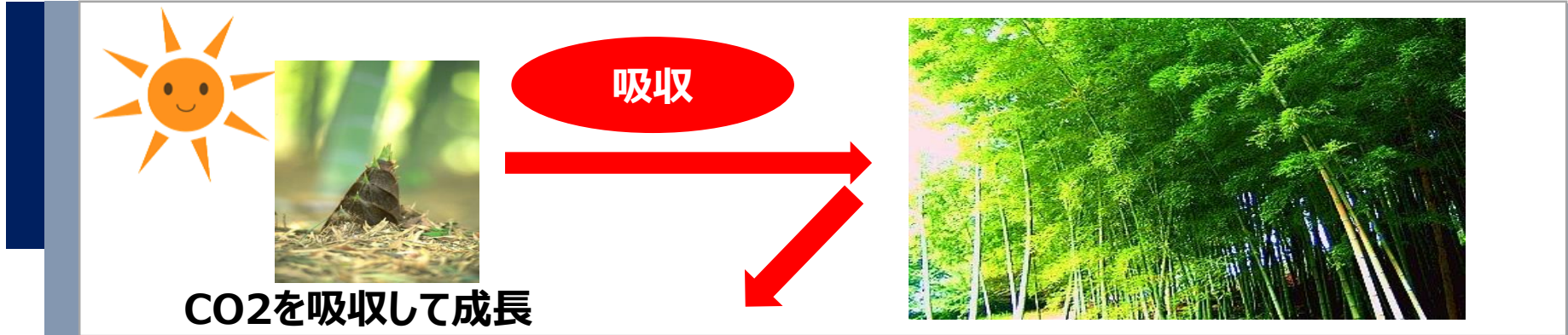




# 環境エネルギー関連：竹炭

- 電気自動車のインパネ用塗料、内装品タッチパネルとして採用。さらなる拡大に期待
- カーボンニュートラルの先を行く、カーボンフィグゼーション(炭素固定化)を実践

## カーボンフィグゼーション



## 【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。